

児童発達支援センター きらり  
令和4年度 事業所評価結果および改善目標について

令和5年3月27日  
児童発達支援センター きらり  
センター長 野村 祐治

平素より保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。  
ご多忙の中、アンケートのご協力ありがとうございました。  
本年度、保護者の皆様・職員による、事業所評価の結果および改善目標について報告いたします。

◎評価結果について

《保護者より》

- ・ 保育園やこども園、学童など、障害のない子どもと接する機会がない。
- ・ 緊急時マニュアル、感染症対応マニュアルなどについて、保護者に周知できていない。

《職員より》

- ・ 保育園や幼稚園、学童など障がいのない子どもとの交流の機会、地域との交流の場がない。
- ・ 職員の研修について、職員間で共有する機会が少ない。事例検討など定期的にできればよい。
- ・ 緊急時マニュアル、感染症対応マニュアルの周知ができていない。

◎改善目標について

《障がいのない児童との交流について》

現在実施できていない為、今後交流の機会を検討していこうと考えています。

《緊急時の対応などの周知について》

年度初めに保護者の皆様に書類にてお知らせします。

各マニュアルについて、お知らせの方法については今後検討します。

また、AED研修などは定期的実施し、緊急時の対応に備えていきたいと考えています。

《職員の研修について》

職員のスキルアップの為、施設内での研修を実施し、職員間の共通理解を深めます。

また、研修の受講にあたっては、個人の判断に委ねている部分がある為、個人差が大きい

という現状もあります。できるだけ多くの職員が研修を受けれる体制づくりや情報発信を行っていきたいと思います。

その他、事業所内からの意見として、人員配置基準は満たしているものの、実際の支援にあたっては足りないと感じる状況も多いことが分かりました。多機能型である為、部分的にフォローできる体制ではありますが、今後の課題として改善に取り組んでいきたいと思えます。

他機関との連携については、保育所や幼稚園等と情報共有する時間もとるようにしていますが、行政（保健師、教育委員会等）とは連携を図る機会が少ないと感じています。就学や保育園の移行がスムーズに行えるように連携を深めていけるような取り組みができればと思います。

また、多くの保護者様より、「きらりに通うようになって、子供の成長を感じている」「一人ひとりの特性を理解し対応してくれる」「職員に会うたびに温かい言葉をかけて頂き励まされている」など、たくさんの励ましの言葉を頂きました。

今後も保護者及び職員からのご意見をもとに改善し、お子様、保護者様に寄り添いながら、安心して楽しく過ごせるきらりを目指します。